

1 清水船越堤公園の一部リニューアルについて

リニューアルまでの流れ

地域住民との意見交換会6回、自治会会合参加7回

令和3年	
11～2月	アンケート調査(1回目) ● 「公園の気に入っているところ」、「公園の直してほしいところ」、「公園に欲しいもの」
令和4年	
3月	船越地区連合自治会(10自治会)との会合 計1回 ● アンケート調査結果(1回目)説明、アンケート結果の組回覧依頼
10月～翌5月	実証実験の実施(公園内にキッチンカー等の出店)
11月～翌3月	アンケート調査(2回目) ※内容は1回目アンケートと同じ
通年	民間事業者へ事前サウンディング
令和5年	
3月	民間事業者へ公募サウンディング ● 「基本コンセプト(案)」、「設置を検討している公園施設」などに対する意見
3月～7月	船越地区連合自治会(10自治会)会合 計3回
//	地域住民との意見交換会 計6回 ● 「基本コンセプト(案)」、「設置を検討している公園施設」、「事業手法(Park-PFI)」に対する意見
8月	事業者公募を開始
12月	審査会を開催し事業者を選定、事業者と基本協定を締結
令和6年	
2月～7月	船越地区連合自治会(10自治会)会合 計3回
2月	住民説明会
3月	実施協定締結
11月～翌3月	カフェ、トイレ、駐車場の3施設の整備

1 清水船越堤公園の一部リニューアルについて

昭和59年 清水船越公園開園当初

▶自然と融和した近代的整備を整え、老若男女誰でも楽しめる公園

出会い

ふれあい

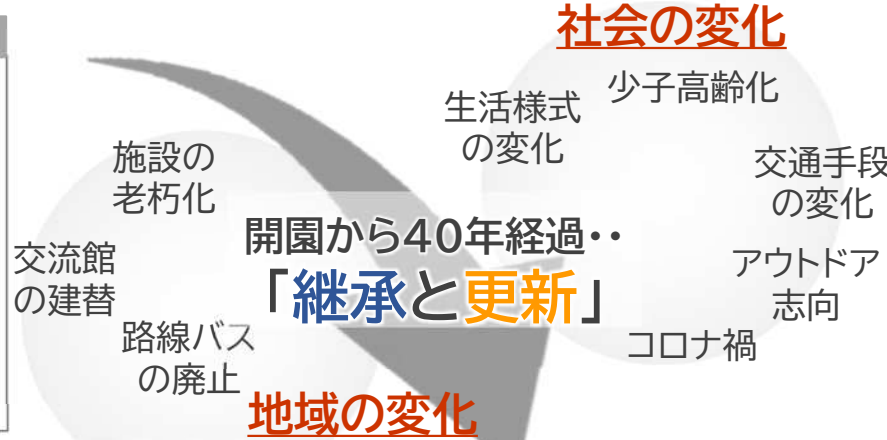
自然は友達

ふれあい広場





紅葉の里



令和5年 清水船越堤公園Park-PFI(リニューアル) 事業方針

▶地域課題や社会課題の解決を目指す令和型公園機能の創出



リニューアル・ビジョン

- 1 「清水区」の美しさが堪能できる心地よい**リビングスペース**の創造
- 2 五感で自然を楽しみ、**心身が整うアクティビティ**の提供
- 3 **公園と福祉が連携**する周辺地域と一体になった**取組の充実**

風景（継承）	地域連携（更新）
富士山や駿河湾、三保半島など清水の美しい風景を詰め込んだ人に紹介したい 絶景スポット 。夜には「星の広場」から満天の星空を望むことができます。	現在、 老人福祉センター や 船越地区生涯学習交流館 との連携して公園利用を推進。お茶室の清心亭では、地元お茶屋がお茶会を主催しています。

- 「清水区」の魅力を認識し、発信する**地域拠点の形成**
- **新しい生活様式**における充実時間(余暇)の提供
- 公園を中心とした**地域・エリアの価値・魅力の向上**

自然（継承）

山麓の自然豊かな環境に加え、丁寧に管理された**四季折々の花木**で彩られています。「婦池」にヘラブナを狙いに**来る釣り人や野鳥観察、ホタル鑑賞**なども。

健康（更新）

傾斜のきつい地形が**人気ポイント**。**ラジオ体操やトレーニング**など幅広い**アクティビティ**が展開。周辺の**老人福祉センター、フィットネスクラブ**との連携が図られています。



1 清水船越堤公園の一部リニューアルについて

事業方針におけるキーワード

自然（継承）



婦池



公園の樹木

地元の方の手による管理されてきた船越堤は戦前より「さくらの名所」として市民に親しまれた景勝地です。清水市市政50周年を契機に「公園」として整備された旧清水市のシビックプライドの象徴とされる公園です。当時のコンセプトである「自然はともだち」を継承し、ネイチャーフィールドを活かした自然教育などを継続して展開します。

<豊かな自然によるアウトドア>

- さくら、梅、椿、紅葉など四季折々の花木
- 「婦池」のヘラブナ釣り
- 「野鳥」観察
- 「ホタル」鑑賞

風景（継承）

清水の美しい風景を望むことが出来ることも清水船越堤公園の特徴の一つです。市外からの来訪者に、わがまち自慢することも、絶景を独り占めしてゆっくりとした時間を過ごすことも、この公園では実現可能です。また、夜には「星の広場」から満天の星空を望めるほか星の世界に誘う「天文台」も兼ね備えています。



富士山と駿河湾



星の広場

<公園から望む風景>

- 富士山
- 駿河湾
- 三保半島
- 清水のまちなみ
- 満天の星空

健康（更新）

清水船越堤公園は有度山山裾の傾斜のきつい地形が意外な人気ポイント。自然の地形や広大なスペースを活用しラジオ体操からトレランまで幅広いアクティビティが楽しめます。今回のリニューアルでは「健康による地域活性化」というコンセプトを加え「健康長寿のまち静岡」を公園から発信していきます。



ウォーキング



傾斜のある階段

<展開されているアクティビティ>

- ウォーキング(ポールウォーキング)
- ラジオ体操
- 日本平へのハイキング(トレラン)
- フィットネス、ヨガ
- モルック

地域連携（更新）



老人福祉センターと生涯学習交流館



清心亭(茶室)

清水船越堤公園は公園自体も非常に魅力的ですが、周辺に様々な施設や団体が存在します。今回のリニューアルでは、地域及び周辺施設と連携して、新たに船越地区全体の魅力創出を目指します。

連携主体は、公共だけではなく、民間事業者や地縁組織も含め、公民連携体制による社会課題、地域課題の解決を進めます。

<期待される連携主体>

- 老人福祉センター
- 生涯学習交流館
- 近隣小学校
- 近隣幼稚園、こども園
- お茶事業者(清心亭のお茶会)
- 地域の民間事業者(フィットネス、ヨガ)

1 清水船越堤公園の一部リニューアルについて

Park-PFI事業者のランドデザイン

出典: ヒューマンスケープ・ランドデザイン構想書
清水船越堤公園の未来 ― 共創社会実現に向けた提案 ―
柚木康裕 (Parkrafts LLC. 代表) 2025年

① ヒューマンスケープの実現

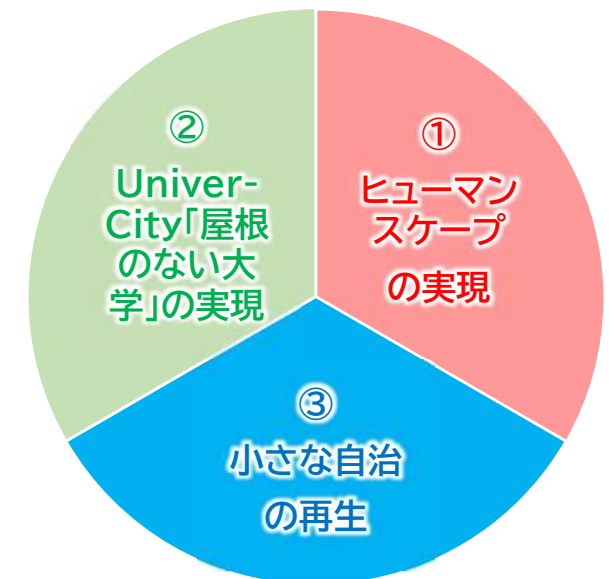
- ヒューマンスケープとは、人間の存在・感情・関係性・記憶によってかたちづけられる風景であり、空間と人が相互に影響を与えながら、共に成長していく場を示す。
- 例えば、お祭り、寄り合い、市場、散歩道、こうした人と人のやりとりが織りなす風景は、単なる背景ではなく、地域の文化そのものといえ、「生きられた風景」となる。
- 船越堤公園を「生きられた風景」をつくる場として再設計していく。

② Univer-City「屋根のない大学」の実現

- 大学(University)と都市(City)の融合体、つまり「学びが生活に溶け込んだ風景」
- 幼児も高齢者も、地域の職人も訪問者も、皆が「教える人・学ぶ人」になるれるような公園を目指す。

③ 小さな自治の再生

- 日本ではこれまで「公共」は行政が管理するものとされてきたが、行政任せに限界があり、これからの時代に求められるのは、市民が自ら関わり、育てていく公共。
- 公園の利用者を単なる「お客さん」としてではなく、「場のづくり手」として迎えていきたい。
- そのために、誰もが自分の関心や経験をもとに参加できる「小さな自治」の仕組みを育てていく。

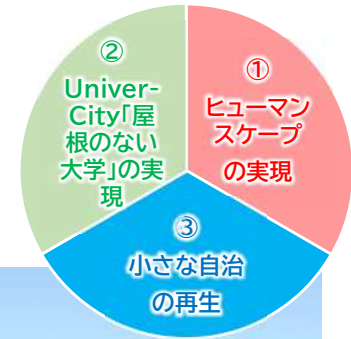


1 清水船越堤公園の一部リニューアルについて

これまでの取組内容

R6.12.1 船越ミライフスティバル

出典:ヒューマンスケープ・ランドデザイン構想書
清水船越堤公園の未来 — 共創社会実現に向けた提案 —
柚木康裕(Parkrafts LLC.代表) 2025年



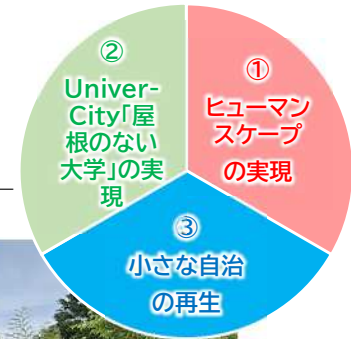
- 船越小学校6年生の児童が、公園がリニューアルによってどうなっていくのかを地域の皆さんへPRするとともに一緒にワクワクすることを共有した。
- 当フェスティバルの開催に至るまで、児童自ら企画し、ポスターの作成や貼付け、公園近隣店舗へマルシェ出店を呼びかけるなど、子ども達が公園のリニューアルを通して沢山のことを学び、地域の方と繋がりを築けた。

1 清水船越堤公園の一部リニューアルについて

これまでの取組内容

R7.3.21 カフェスタンド、トイレ、駐車場がオープン

出典:ヒューマンスケープ・ランドデザイン構想書
清水船越堤公園の未来 ― 共創社会実現に向けた提案 ―
柚木康裕(Parkrafts LLC.代表) 2025年



- 人が交流できる場としてカフェスタンドを設置しており、飲食の提供のみならず、机や椅子を無料で貸し出しており、人が集まる場所となっている。
- カフェスタンドの窓に描かれた絵や店内の飾りつけは、地域の方や子ども達がインストラクターの指導のもと作成しており、皆さんと「交流する場」をつくる感覚を共有した。

1 清水船越堤公園の一部リニューアルについて

これまでの取組内容

R7.5.10～11 公園リニューアルイベント



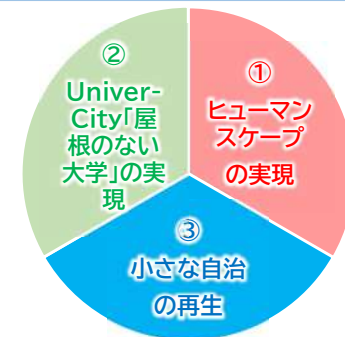
- 大阪・関西万博内で開催されている芸術祭に出展中の現代アーティスト「奥中章人」によるワークショップ、マルシェなどを実施。
- ワークショップでは、幼児から小学生が、巨大なクジラをつかって、空に散歩をさせた。

出典：ヒューマンスケープ・ランドデザイン構想書
清水船越堤公園の未来 ― 共創社会実現に向けた提案 ―
柚木康裕(Parkrafts LLC.代表) 2025年



2 Park-PFI事業者が仕掛ける今後の展開について

① 芝育成ゼミの開催

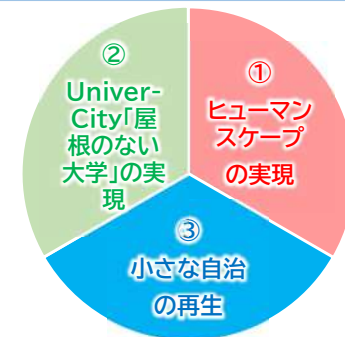


出典:ヒューマンスケープ・ランドデザイン構想書
清水船越堤公園の未来 ― 共創社会実現に向けた提案 ―
柚木康裕(Parkrafts LLC.代表) 2025年

概要	中央広場に、<u>清水エスパルスの練習場から譲りうけた芝を植樹し、美しく維持していく取組。</u>
目的	- 中央広場の芝を美しく維持し、<u>交流の象徴の場</u>とする。 <u>地域と子どもが「場を育てる」感覚を共有する。</u>
想定している参加者	- 船越小学校の児童、PTA - 自治会、地域住民 - 地元企業
取組内容	- 緑のデザイン教育、芝の種類と管理の知識提供 - 小学生による芝張り体験・芝守隊 - 地域の芝手入れイベント

2 Park-PFI事業者が仕掛ける今後の展開について

② ホタルの里ゼミの開催

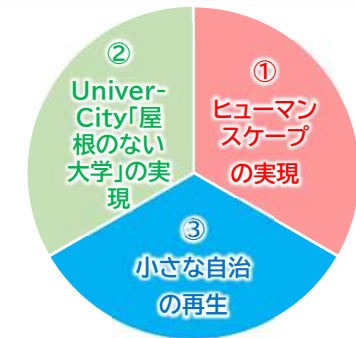


出典:ヒューマン・スケープ・ランドデザイン構想書
清水船越堤公園の未来 ― 共創社会実現に向けた提案 ―
柚木康裕(Parkrafts LLC.代表) 2025年

概要	・ <u>せせらぎの小川で、かつて見られた数多いホタルの舞う風景を取り戻すことを目指し、子どもたちや地域住民が主体となって生態系の保全と再生に関わる。</u>
目的	・ かつての自然景観と生態系を取り戻す。 ・ <u>子どもたちと地域住民が自然と関わる学習機会を創出。</u>
想定している参加者	・ 船越小学校の児童、PTA ・ 自治会、地域住民 ・ 地元自然保護団体 ・ 地元企業
取組内容	・ ホタルの生涯を学ぶ授業(小学校) + 実施観察 ・ ビオトープづくり、植生整備、ライトダウンなど ・ 鑑賞会やホタル便り、地域新聞連携

2 Park-PFI事業者が仕掛ける今後の展開について

③ みんなの畑部

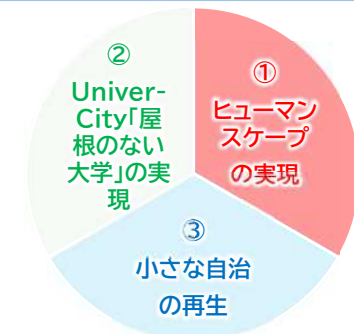


出典:ヒューマンスケープ・ランドデザイン構想書
清水船越堤公園の未来 ― 共創社会実現に向けた提案 ―
柚木康裕(Parkrafts LLC.代表) 2025年

概要	公園近隣の畑にて、自然農の取組がなされており、この取組を通して、<u>子どもからお年寄りの方々の幅広い世代が関わり、自然農を学ぶ。</u>
目的	- 知の継承と世代間の連携 - 子どもたちの主体性・公共性を育む
想定している参加者	- 農業に従事している高齢の方 - 船越小学校の児童 - 地域住民 - オーガニックを支援する団体
取組内容	- 自然農スクール(月1回) - 季節のスープ会・マルシェ - 子どもとつくる「畑の自治会」 - ストーリーマップ、畑新聞の発行

2 Park-PFI事業者が仕掛ける今後の展開について

④ 「健康をめぐるヒューマンスケープ」



出典:ヒューマンスケープ・ランドデザイン構想書
清水船越堤公園の未来 ― 共創社会実現に向けた提案 ―
柚木康裕(Parkrafts LLC.代表) 2025年



概要	• 船越堤公園の広がりを活かし、 <u>自然の中で身体を動かす「オープンエア・ヘルスケア」</u> を実施する。
目的	• 運動を通して、健康と交流を機会を創出する。
想定している参加者	• 学生からシニア層まで幅広い層の公園利用者
取組内容	• 朝ヨガ:静かな朝の芝生でのヨガ • 定期的なランイベント、記録会 • ワークアウト教室:自重・道具を使った筋トレ • フレイル予防体操:高齢者向け簡易体操